

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：（『現代の国語』筑摩書房）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり必要な国語の知識や技能を身につける、

【思考力、判断力、表現力等】考察力・共感性・想像力を伸ばし、自らの思いを他者に的確に発信する能力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】読書に親しみ自己を向上させ、自国文化の担い手として社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、他者や社会に対して興味関心を持ち、理解を深めることができるようにする。	「書くこと」「読むこと」において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ姿勢をもち、我が国の文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	前半 ★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★文章の精読を通して多角的な視点と豊かな心を育む。 ★常用漢字の習得	『ことばとは何か』 内田樹 『デジタル社会』 黒崎政男 評論読解のポイント 『羅生門』 芥川龍之介	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。 ○他科目との合同授業	○	○	○	13
	後半 ★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 ★常用漢字の習得	『開かれた文化』 岡真理 『ことばがつくる女と男』 中村桃子 『贈り物と商品の違い』 松村圭一郎 「要約作成のポイント」 「質問する力」を育てよう 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 発表	○	○	○	13
	定期考査						○	○		2
2 学 期	前半 ★文章や図表に含まれている情報を的確に読み取り、筆者の意図を解釈し、自己の考えを深める。 ★話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や話し合いの仕方や結論の出し方工夫すること。 ★常用漢字の習得	規 行 『私時代のデモクラシー』 宇野重 『魔術化する科学技術』 清岡卓 「ビブリオバトルに挑戦しよう」 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出 宿題の提出。 小テストの実施。 発表	○	○	○	15
	後半 ★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★文章の精読を通して多角的な視点と豊かな心を育む。 ★常用漢字の習得	人 『マルジャーナの知恵』 岩井克 『記憶する体』 伊藤亜紗 ○『夢十夜』 夏目漱石 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 発表 ○プリントまたはレポートの提出。 ○他科目との合同授業	○	○	○	15
	定期考査						○	○		2
3 学 期	★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★文章や図表に含まれている情報を的確に読み取り、筆者の意図を解釈し、自己の考えを深める。 ★実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 ★文章の精読を通して多角的な視	○『主体とう物語』 小坂井敏晶 ○『城の崎にて』 志賀直哉 『名づけと所有』 西谷修	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 発表 ○プリントまたはレポートの提出。 ○他科目との合同授業	○	○	○	9
			○	○	○		○	○	○	8

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：（『言語文化』大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】考察力・共感性・想像力を伸ばし、自らの思いを他者に的確に発信する能力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】読書に親しみ自己を向上させ、自国文化の担い手として社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対して興味関心を持ち、理解を深めることができるようにする。	古典作品、文学的作品において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ姿勢をもち、我が国の文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A★古文に親しむ ★用言・助動詞の習得 ○古典文学から現代文学へのつながりを知る。	『宇治拾遺物語』 『今昔物語』 『徒然草』 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。 ○他科目との合同授業	○	○	○	20
	B★漢文に親しむ ★漢語の基本構造を知る	『推敲』『蛇足』 『借虎威』『完璧』 『先従隗始』『鷄鳴狗盗』 『臥薪嘗胆』 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		2
2 学 期	A★平安文化に触れる ★助動詞・敬語の習得	『枕草子』 『伊勢物語』 『源氏物語への招待』 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。 ○他科目との合同授業	○	○	○	24
	B★漢文に親しむ ★漢文の句形の習得 ○古典文学から現代文学へのつながりを知る	漢詩 『論語』 ○杜甫と安史の乱 ○講師と諸子百家 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。	○	○	○	22
	定期考査						○	○		2
3 学 期	A★和歌に触れ、心を感じる ★旅・紀行文から人生を見る ★敬語・助詞の習得 ○旅文学から人生を見る	『土佐日記』 『更級日記』 『万葉集・古今和歌集 ・新古今和歌集』 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。 ○他科目との合同授業	○	○	○	14
	B★漢文から当時の社会を見る ★漢詩に触れ、心を感じる。 ★漢文の句形の習得	『雑説』 『黔之驢』 『人面桃花』 ○物語の書き出し 便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
									合計	117

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（東京書籍 詳解歴史総合）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特徴と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向けて構想し、表現、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。	近現代の歴史に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。	広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	歴史の扉 【知識及び技能】 18世紀の東アジア世界に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀の東アジア世界に関する諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	東アジアにおける前近代の歴史	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、18世紀の東アジア世界について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 18世紀の東アジア世界に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の東アジア世界に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。	○	○	○	2
	近代化と私たち 【知識及び技能】 近代化に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	(1) 近代化への問い (2) 結びつく世界と日本の開国 (3) 国民国家と明治維新 (4) 近代化と現代的な諸課題	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、近代化が覆う世界情勢について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 近代化に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化が覆う世界情勢に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
2 学 期	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	(1) 国際秩序の変化や大衆化と私たち (2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、国際秩序の変化や大衆化について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化や大衆化に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。	○	○	○	31
	定期考査			○	○		1
	グローバル化と私たち 【知識及び技能】 グローバル化に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。	(1) グローバル化への問い (2) 冷戦と世界経済 (3) 世界秩序の変容と日本 (4) 現代的な諸課題の形成と展望	【知識・技能】 講義や探究活動を通して、グローバル化に伴う世界情勢について理解している。また、資料を読み解き活用する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 グローバル化に対して問題意識を持ち、時期や年代、推移、比較、相互関連などに着目して多面的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グローバル化に伴う世界情勢に関して、主体的に問いを立てて探究しようとしている。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	
				○	○		合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用）教科

地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

教科担当者：（A～D組：石上 春城）

使用教科書：（地理総合（東京書籍）、新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特徴と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向けて構想し、表現、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数				
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 第2章 資料から読み取る現代世界 【知識及び技能】 さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ、地図や地理情報システムなどを用いて、地理空間情報の役割や有用性について理解し、地図化することができるようにする。また、国家の領域に関する知識を身につけ、海洋の役割、領土問題について理解している。日本の位置と領域、領土問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し、使用目的に応じて適切に表現している。また、日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> ・地理情報と地図 ・国家の領域と領土問題 ・国内や国家間の結びつき ・日常生活のさまざまな地図 	【知識・技能】 さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ、地図や地理情報システムなどを用いて、地理空間情報の役割や有用性について理解し、地図化することができる。また、国家の領域に関する知識を身につけ、海洋の役割、領土問題について理解している。日本の位置と領域、領土問題について理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し、使用目的に応じて適切に表現している。また、日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み、自ら課題を設定して完成させている。地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心をもって主体的に探究することができる。	○	○	○	11				
			定期考査				○	○	○	1
			第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 【知識及び技能】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する知識を身につけ、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する分布の特徴などを、歴史的背景を考察しながら考察し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境や世界の産業、言語、宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化の多様性と国際理解 ・生活文化と自然環境①地形 ・生活文化と自然環境②気候 	【知識・技能】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する知識を身につけ、理解している。 【思考・判断・表現】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する分布の特徴などを、歴史的背景を考察しながら考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに興味、関心をもって主体的に探究することができる。	○	○	○	15	
定期考査							○	○	○	1
第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 【知識及び技能】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する知識を身につけ、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する分布の特徴などを、歴史的背景を考察しながら考察し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境や世界の産業、言語、宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化と社会環境①産業 ・生活文化と社会環境②宗教・民族 	【知識・技能】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する知識を身につけ、理解している。 【思考・判断・表現】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに関する分布の特徴などを、歴史的背景を考察しながら考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境や世界の産業、言語、宗教、民族などに興味、関心をもって主体的に探究することができる。				○	○	○	15	
			定期考査				○	○	○	1
			第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 	【知識・技能】 世界各地で見られる地球的課題に関する知識を身につけ、理解することができる。					
定期考査							○	○	○	1

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数： 単位 3

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

教科担当者：（A組：天白 内藤 吉田）（B組：天白 内藤 吉田）（C組：天白 内藤 富澤）（D組：天白 内藤 富澤）

使用教科書：（数研出版 数学 I ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用【学びに向かう力、人間性等】する態度を育てる。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と方程式、複素数と方程式、三角関数、指数関数と対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
複素数と方程式 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	複素数（1） 2次方程式の解と判別式（2） 解と係数の関係（3） 剰余の定理と因数定理（3） 高次方程式（2）	【知識・技能】 ○複素数の表記を理解し、複素数、複素数の相等の定義を理解している。 ○複素数の四則計算ができる。 ○負の数の平方根を理解し、それらを含む式の計算を、 i を用いて処理することができる。 ○解と係数の関係を使って、対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。 ○和と積が与えられた2数を、2次方程式を解くことにより求めることができる。 ○剰余の定理を利用することができる。 ○ $P(k)=0$ である k の値の求め方を理解し、高次式を因数分解できる。 ○因数分解や因数定理を利用することにより、高次方程式を解くことができる。 ○高次方程式の既知の解から、方程式の係数を決定することができる。 ○高次方程式の虚数解から、方程式の係数を決定することができる。 【思考・判断・表現】 ○有理数から実数へ数の範囲を拡張する必要性を理解し、複素数を考察することができる。 ○複素数の範囲で、負の数の平方根を考察することができる。 ○2次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。 ○異なる2つの実数 α 、 β が正の数、負の数、異符号であることを、同値な式で表現できる。 ○2次方程式の解の符号に関する問題を、解と係数の関係を利用して考察することができる。 ○多項式 $P(x)$ が $x-k$ で割り切れることを式で表現することができる。 ○高次方程式を、1次、2次方程式に帰着して考察することができる。 ○高次方程式が解 α をもつことを、式で表現することができる。 ○「方程式が虚数 α を解にもてば α^{-1} も解である」ことの証明に、共役な複素数の性質がどのように使われるかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。 ○2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。 ○2次方程式の解に関する種々の問題を、解と係数の関係を利用して考察しようとする。 ○2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち、問題に取り組もうとする。	○	○	○	11
定期考査			○	○		

<p>図形と式</p> <p>座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>直線上の点 (1) 平面上の点 (2) 直線の方程式 (4) 2直線の関係 (6) 円の方程式 (3) 円と直線 (3) 2つの円 (2)</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○距離の公式を利用して、図形の性質を証明できる。 ○与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 ○2直線の平行・垂直条件を理解していて、それを利用できる。 ○連立方程式の実数解の個数と、2直線の共有点の個数の関係を理解している。 ○$kF(x,y)+G(x,y)=0$の形を利用して、直線の方程式を求めることができる。 ○点と直線の距離の公式を理解していて、それを利用できる。 ○与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 ○x, yの2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べるができる。 ○3点を通る円の方程式を求めることができる。 ○円と直線の共有点の座標を求めることができる。 ○円の接線の公式を理解していて、それを利用できる。 ○円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。 ○2つの円の位置関係を調べるができる。 ○$kF(x,y)+G(x,y)=0$の形を利用して、円の方程式を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1点を通る直線の方程式から、異なる2点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。 ○連立方程式の解の状況を、2直線の位置関係から考察することができる。 ○2直線の交点を通る直線を、方程式を用いて考察することができる。 ○円の方程式がx, yの2次方程式で表されることを理解し、x, yの2次方程式が、常に円を表すとは限らないことを考察しようとする。 ○3点を通る円と、この3点を頂点とする三角形との関係を考察することができる。 ○円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 ○円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで、円と直線の位置関係を考察することができる。 ○直線が円によって切り取られてできる線分の長さを、円の中心と直線の距離を用いて考察することができる。 ○2つの円の位置関係を、2円の中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 ○2つの円の交点の座標や、交点を通る円について、2つの円の方程式を適切に変形して考察することができる。 ○平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 ○軌跡を求めるには、逆についても調べる必要があることを理解している。 ○点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 ○変数x, yについての不等式を満たす点(x, y)全体の集合がどのような図形であるかを考察することができる。 ○条件の真実集合を考えることにより、命題の真偽を真実集合の包含関係として考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。 ○線形計画法では、条件として与えられた不等式の表す領域を図示することにより、鮮やかに最大値・最小値を求めることができることに興味・関心をもつ。 ○不等式を含む命題を、不等式の表す領域を用いて証明することに興味・関心をもつ。 ○放物線を境界線とする領域に関心をもち、考察しようとする。 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○距離の公式を利用して、図形の性質を証明できる。 ○与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 ○2直線の平行・垂直条件を理解していて、それを利用できる。 	○	○	○	21
---	--	--	---	---	---	----

		<p>○連立方程式の実数解の個数と、2直線の共有点の個数の関係を理解している。</p> <p>○$kF(x,y)+G(x,y)=0$の形を利用して、直線の方程式を求めることができる。</p> <p>○点と直線の距離の公式を理解して、それを利用できる。</p> <p>○与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。</p> <p>○x, yの2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を調べることができる。</p> <p>○3点を通る円の方程式を求めることができる。</p> <p>○円と直線の共有点の座標を求めることができる。</p> <p>○円の接線の公式を理解して、それを利用できる。</p> <p>○円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。</p> <p>○2つの円の位置関係を調べることができる。</p> <p>○$kF(x,y)+G(x,y)=0$の形を利用して、円の方程式を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○1点を通る直線の方程式から、異なる2点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。</p> <p>○連立方程式の解の状況を、2直線の位置関係から考察することができる。</p> <p>○2直線の交点を通る直線を、方程式を用いて考察することができる。</p> <p>○円の方程式がx, yの2次方程式で表されることを理解し、x, yの2次方程式が、常に円を表すとは限らないことを考察しようとする。</p> <p>○3点を通る円と、この3点を頂点とする三角形との関係を考察することができる。</p> <p>○円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。</p> <p>○円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで、円と直線の位置関係を考察することができる。</p> <p>○直線が円によって切り取られてできる線分の長さを、円の中心と直線の距離を用いて考察することができる。</p> <p>○2つの円の位置関係を、2円の中心間の距離と半径の関係で考察することができる。</p> <p>○2つの円の交点の座標や、交点を通る円について、2つの円の方程式を適切に変形して考察することができる。</p>				
定期考査			○	○		
三角関数 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	一般角と弧度法 (2) 三角関数 (2) 三角関数の性質 (4) 三角関数のグラフ (5) 三角関数の応用 (5)	<p>【知識・技能】</p> <p>○弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。</p> <p>○扇形の弧の長さや面積の公式を理解している。</p> <p>○弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。</p> <p>○$-\theta$や$\theta \pm \pi$などの公式を理解し、それらを用いて</p>				

		<p>三角関数の値を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三角関数の性質とグラフの特徴を相互に理解している。 ○いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ○$y=\sin(k\theta+\alpha)$の形の関数の式を適切に変形して、グラフや周期を考察することができる。 ○角が$\theta+\alpha$の形をしている三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 ○加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 ○正接の加法定理を利用して、2直線のなす角の鋭角を求めることができる。 ○2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角の公式を利用することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○弧の長さで角を図る方法として、弧度法を考察することができる。 ○単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。 ○三角関数の性質を、グラフの特徴とともに考察することができる。 ○三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 ○変数をおき換えることで、三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察することができる。 ○角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。 ○正接の定義と加法定理を利用して、2直線のなす角を考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○$y=\sin\theta$ と $y=\cos\theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味、関心をもつ。 ○周期関数に興味をもち、その性質を調べようとする。 	○	○	○	18
定期考査			○	○		
<p>三角関数の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。</p>	<p>加法定理(4) 加法定理の応用(5) 三角関数の合成(6)</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○$y=\sin(k\theta+\alpha)$の形の関数の式を適切に変形して、グラフや周期を考察することができる。 ○角が$\theta+\alpha$の形をしている三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 ○加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 ○正接の加法定理を利用して、2直線のなす角の鋭角を求めることができる。 ○2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角の公式を利用することができる。 ○$a\sin\theta+b\cos\theta$ を $r\sin(\theta+\alpha)$ の形に変形する方法(三角関数の合成)を理解している。 ○x の関数 $y=a\sin x+b\cos x$ の式を変形して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ○$a\sin\theta+b\cos\theta$ を $r\sin(\theta+\alpha)$ の形に変形する方法(三角関数の合成)を理解している。 ○x の関数 $y=a\sin x+b\cos x$ の式を変形して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 ○変数をおき換えることで、三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察することができる。 ○角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。 ○正接の定義と加法定理を利用して、2直線のなす角を考察することができる。 ○$a\sin\theta+b\cos\theta$ の変形にあたり、同じ周期をもつ2つの関数の合成であることを理解している。 ○$a\sin\theta+b\cos\theta$ の変形にあたり、同じ周期をもつ2つの関数の合成で 	○	○	○	16
定期考査			○	○		



3 学 期	指数関数と対数関数 指数関数・対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	指数の拡張 指数関数(1.5) 対数とその性質(2) 対数関数(3) 常用対数(2)	【知識・技能】 ○指数が整数・有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 ○累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ○指数関数、対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ○底と1の大小に注意して、指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ○ $a^x > 0$ に注意して、置き換えによって指数方程式・不等式を解くことができる。 ○指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ○対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ○対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算や、等式の証明の方法がわかる。 ○底と1の大小に注意して、対数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ○置き換えによって関数の最大・最小問題を解くことができる。 ○正の数を $ax \cdot 10^n$ の形に表現して、対数の値を求めることができる。 ○常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の問題などを解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○累乗根をグラフによって考察することができる。 ○指数が整数の場合だけではなく、無理数の場合まで拡張して、累乗の定義を理解している。 ○指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 ○指数法則から、対数の性質を考察することができる。 ○対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y=x$ に関して対称であるという見方ができる。 ○対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ○真数が正であることに着目し、対数の性質を適切に利用して問題を解決することができる。 ○非常に大きな数や小さな数の取り扱いが楽になる常用対数の有用性を考察することができる。 ○底の変換公式を用いることによって、どの対数も常用対数で表現することができる。 ○桁数や小数首位が第n位の数を、不等式で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○指数法則が成り立つようにするには、0乗、負の整数乗、分数乗をどのように定義すればよいかと調べようとする。 ○負の数のn乗根に興味を示し、具体的に理解しようとする。 ○指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。 ○指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。 ○やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。 ○桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学科 科目 数学A

教科：数学科 科目：数学A 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：（数研出版 数学A）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】 集合と命題、場合の数と確率、データの分析、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数
- 【思考力、判断力、表現力等】 学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにす
- 【学びに向かう力、人間性等】 るとともに、それらを活用する態度を育てる。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
集合と命題、場合の数と確率、データの分析、数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数	
1 学 期	集合と命題	命題と条件（3） 命題と証明（3） 二項定理（2）	【知識・技能】 ○命題の真偽、反例の意味を理解し、集合の包含関係や反例を調べること で、命題の真偽を決定することができる。 ○必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解している。 ○条件の否定、ド・モルガンの法則を理解しており、複雑な条件の否定が 求められる。 ○命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解しており、それらの真偽を調べ ることができる。 ○対偶による証明法や背理法のしくみを理解している。 ○ $(a+b)^n$ の展開式からパスカルの三角形を導き、パスカルの三角形の性質を理解す る。 ○二項定理の導き方を理解し、二項定理を利用して、展開式やその項の係 数を求めることができる。 ○二項定理を3項の場合に適用することで、展開式の係数を求めることが できる。 【思考・判断・表現】 ○命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けて捉えることによって考察す ることができる。 ○命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解でき ている。 ○命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を 適切に判断することで、命題を証明することができる。 ○二項定理とパスカルの三角形を結び付けて考察することができる。 ○二項定理を等式の証明に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○命題と条件の違いや、命題と集合との関係について、積極的に理解しよ うとする。 ○条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していること に着目し、命題について調べようとする態度がある。 ○命題の逆・裏・対偶の関係が条件を満たす集合の関係に対応しているこ とに着目し、これらについて考察しようとする。 ○直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると 鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとする。 ○パスカルの三角形の対称性やそこに現れる数の並び、およびそれらと二 項係数の関係に興味をもって調べようとする。 ○ $(a+b)^n$ の展開式とパスカルの三角形の関係を調べる。	○	○	○	8	
	定期考査				○	○		
	式と証明	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	恒等式（4） 等式の証明（4） 不等式の証明（4）	【知識・技能】 ○恒等式の性質を理解し、恒等式となるように係数を決定することができ る。 ○分数式の恒等式について、分母を払った等式が恒等式であることを利用 できる。 ○2つ以上の文字に関する恒等式の係数を決定することができる。 ○等式を証明することができる。 ○不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 ○1文字の恒等式の知識をもとに、2つ以上の文字に関する恒等式について 考察することができる。 ○与えられた条件式の利用方法を考察することができ、適した方法を用い ることによって等式を証明することができる。 ○不等式 $A > B$ を証明するには $A - B > 0$ を示せばよいと考察することができ、そのことを用いて不等式を証明する ことができる。 ○不等式の証明で、等号が成り立つ場合について考察できる。 ○不等式の証明に実数の平方の性質を利用できるように、式変形を考察す ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを、比較して 考察しようとする。 ○等式、不等式の証明を通して、数学の論証に興味・関心をもつ。 ○相加平均・相乗平均の大小関係の有用性に、興味・関心をもつ。	○	○	○	12
定期考査				○	○			

	<p>場合の数と確率</p> <p>場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>場合の数(1) 順列(1.5) 円順列・重複順列(1.5) 組合せ(2) 事象と確率(2) 確率の基本性質(2) 独立な試行の確率(2) 反復試行の確率(2)</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○和の法則と積の法則・順列・組合せの用語、記号、公式の利用場面を理解している。 ○順列に条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 ○順列の問題で、重複して数えないための処理ができる。 ○円順列、重複順列の並べ方の総数を求めることができる。 ○組合せに条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既知の順列の総数をもとにして、場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ○特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○具体的な問題に対して、どのような場合に、円順列、重複順列の考え方が適用できるかを判断し、それらの公式を使って問題を解決することができる。 ○特殊な条件が付く組合せを、味方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○同じものを含む順列を、組合せで考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1つの原則を決めて、樹形図などを利用して、もれなく重複することなく数えようとする。 ○自然数の正の約数の個数を数えること、式の展開を用いて約数の和が求められることに興味を示す。 ○樹形図を利用して、積の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。 ○順列と組合せ、順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもつ。 ○組合せの考え方を活用して図形の個数や同じものを含む順列の総数など 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
2 学 期	<p>場合の数と確率</p> <p>確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>データの分析</p> <p>データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。</p>	<p>条件付き確率(2) 期待値(2)</p> <p>データの代表値(1) データの散らばりと四分位範囲(1) 分散と標準偏差(2) 2つの変量の間の関係(2) 仮説検定の考え方(2)</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果の事象を集合として表すことができる。 ○確率、積事象、和事象、独立な試行、反復試行、期待値の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 ○試行が独立か、独立でないかを判断できる。 ○複雑な独立試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ○条件付き確率の式から確率の乗法定理の等式を導くことができる。 ○乗法定理を用いて2つの事象がともに起こる確率が求められる。 ○条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 ○確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○試行の結果を事象として捉え、事象を集合と結びつけて考察することができる。 ○不確実な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数量的に捉えることができる。 ○集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 ○2つの独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。 ○3つ以上の独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。 ○既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考察することができる。 ○原因の確率について、条件付き確率を利用して求める方法を考察することができる。 ○結果が不確実な状況下において、どの選択が合理的かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○くじを引くことを何回も繰り返す実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 ○加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。 ○身近な事柄において、確率の考え方を活用して考察しようとする。 ○条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心を持ち、積極的に活用しようとする。 ○身近な事柄において、条件付き確率の考え方を活用して考察しようとする。 	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
	<p>数列</p> <p>○数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする。</p>	<p>数列と一般項(2) 等差数列(2) 等差数列の和(2) 等比数列(2) 等比数列の和(2) 和の記号Σ(3)</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○数列の定義、表記について理解している。 ○数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。 ○等差数列の公差、一般項などを理解している。 ○初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ○等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 ○自然数の和、奇数の和、偶数の和などが求められる。 ○等比数列の公比、一般項などを理解している。 				

3 学 期	<p>止しよノルリる安明を實ノ</p> <p>○和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。</p> <p>○数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。</p>	<p>○初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。</p> <p>○等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。</p> <p>○等比数列の和の公式を利用して、和の値から数列の一般項を求めることができる。</p> <p>○記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。</p> <p>○第k項をkの式で表して、初項から第n項までの和が求められる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。</p> <p>○等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。</p> <p>○等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。</p> <p>○数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。</p> <p>○和Σkについて、既に学んだ等比数列の和と捉えて求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。</p> <p>○等差中項の性質に興味をもち、問題解決に取り組もうとする。</p> <p>○等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。</p> <p>○等比中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとする。</p> <p>○等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。</p>	○	○	○	13
	定期考査					
					合計	
					59	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ D組

使用教科書：（東京書籍 新改訂 物理基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通じて、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	1編 1章 運動の表し方 【知識及び技能】 ・運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・運動の表し方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・運動の表し方に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・変位や速度・加速度などの基本的な物理量の測定と扱い方 ・合成速度、相対速度 ・等速直線運動 ・等加速度運動	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解している。また、観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題意識を持ち、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13	
	定期考査			○	○		1	
	1編 2章 さまざまな力とそのはたらき 【知識及び技能】 ・さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな力とそのはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな力とそのはたらきに関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・さまざまな力 ・力のつり合い ・運動の法則 ・落下運動	【知識・技能】 ・観察、実験などを通して、さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に関わり、見通しをもって振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13	
定期考査			○	○		1		
2 学 期	1編 3章 力学的エネルギー 【知識及び技能】 ・力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・力学的エネルギーについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・力学的エネルギーに関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・仕事とエネルギー ・運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・力学的エネルギーに関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15	
	定期考査			○	○		1	
	2編 1章 熱 【知識及び技能】 ・熱についての観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・熱について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・熱と温度 ・熱膨張 ・熱平衡 ・物質の三態 ・熱の利用	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。				15	
定期考査			○	○		1		
3 学 期	2編 2章 波 【知識及び技能】 ・波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・波に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・波動現象 ・波をグラフで表す（横波、縦波、速さ、振動数、周期、波長、変位などの物理量の理解） ・波の重ね合わせ ・音波	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。				17	
	定期考査			○	○		1	
							合計	78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：（生物基礎 数研出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	5・生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1・生物の多様性と共通性 2・植生と遷移 3・遷移とバイオーム	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	1・生物の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1・細胞の特徴 2・生物とエネルギー代謝	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
2 学期	2・遺伝子とそのはたらき 【知識及び技能】 遺伝子とそのはたらきについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解すること。塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合い、レポートの作成、発表を適宜行わせ、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	以下の内容を十分に理解できる。 また、実験や観察を通して、生物について考察できる。 1・遺伝情報とDNA 2・遺伝情報とタンパク質	【知識・技能】 定期考査の素点 小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査の素点 授業ノートの内容評価 実験レポートの内容評価 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の対話 授業ノート・実験レポートの提出状況	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：701現代高等保健体育（大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>体育理論</p> <p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む。</p>	<p>・スポーツの始まりと変遷</p> <p>・文化としてのスポーツ</p>	<p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んだ。</p>	○	○	○	2
<p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保することができる。</p>	<p>・体ほぐし運動</p> <p>・実生活に生かす運動の計画</p>	<p>【知識及び運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保することができた。</p>	○	○	○	3
<p>武道</p> <p>【知識及び技能】 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連続技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防ができる。</p> <p>剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などにおける自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。</p>	<p>柔道</p> <p>・歴史、礼儀作法、体づくり、受け身、投げ技、固め技、連続技を練習し、習った技を使って簡単な攻防を行う。</p> <p>剣道</p> <p>・竹刀の持ち方、足さばき、簡単な打突、また基本技や簡単な打ち合いを中心に学習し、防具を付けている相手に打ち込みを行う。</p>	<p>【知識・技能】 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連続技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防ができた。</p> <p>剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防ができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などにおける自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康・安全を確保しながら、武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保することができた。</p>	○	○	○	13
<p>ダンス</p> <p>【知識及び技能】 表現したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個性や特徴、観客の反応や空間の使い方など変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめて踊ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとし、健康・安全を確保することができる。</p>	<p>・グループ活動による創作ダンスを行う。表現したい内容を動き、構成を工夫し小モチーフから大モチーフへと発展させる。</p>	<p>【知識・技能】 表現したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個性や特徴、観客の反応や空間の使い方など変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめて踊ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとし、健康・安全を確保することができた。</p>	○	○	○	
<p>水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保しようとする。</p>	<p>・クロール、平泳ぎ、バタフライ、背泳の4種類の泳法を学習する。</p> <p>・入学年次にバタフライの泳法を完成させ、2.5mを泳ぎさせる。</p> <p>・記録を向上させる。</p>	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保しようとした。</p>	○	○	○	10

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：（701現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	現代社会と健康 【知識】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づく	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復	【知識】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できた。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指そうとしている。	○	○	○	8
	安全な社会生活 【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減でき、応急手当には正しい手順や方法があること、また応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。 心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について関心をもって学ぼうとし、積極的に心肺蘇生法の習得に取り組もうとした。	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	【知識・技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減でき、応急手当には正しい手順や方法があること、また応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できた。 心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができた。 【思考・判断・表現】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について関心をもって学ぼうとし、積極的に心肺蘇生法の習得に取り組もうとした。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位 2

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ MOUSA1 教育芸術社 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	記 時 数	
		歌	器	創							
1 学 期	日本語の語感を生かし、情景を思い浮かべて歌う。	「校歌」 「むこうむこう」	○			【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声、発音 ・発展的な音楽用語 【思考力、判断力、表現力等】 ・語感を生かした表現 ・曲の構成、旋律と強弱の関わり 【学びに向かう力、人間性等】		○	○	8	
	曲にふさわしい発声や発音で、美しく歌う。	「この道」 「Caro mio ben」	○		○	【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声、発音 ・イタリア語の発音 【思考力、判断力、表現力等】 ・語感を生かした表現 ・曲の構成、旋律と強弱の関わり 【学びに向かう力、人間性等】		○	○	8	
	ギターの基本奏法やコードの仕組みを理解し、音色を工夫してヘアで演奏する。	「第三の男のテーマ」		○	○	【知識及び技能】 ・ギターの仕組みや奏法の理解 ・基本的な演奏の技能 ・コードの仕組みに関する知識 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色や奏法を生かした表現 【学びに向かう力、人間性等】			○	8	
	身近なものを使って、音色やリズム、パフォーマンスを工夫してアンサンブルをする。	CUPS		○	○	【知識及び技能】 ・楽器としてのカップの使い方 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色を生かした表現 ・パフォーマンスの工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物			○	4	
2 学 期	曲にふさわしい発声や発音で、工夫して独唱、合唱する。 箏の基本奏法や日本音楽の特徴・作法を理解し、音色を工夫して演奏する。	「ぼくはぼく」 「Heidenröslein」 「六段の調 初段」 箏曲アンサンブル四季「春」	○	○	○	【知識及び技能】 ・ドイツ語の発音、リートの特徴の理解 ・箏の仕組みや奏法の理解 ・箏の基本的な演奏の技能 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲の構成、旋律と強弱の関わり 【学びに向かう力、人間性等】			○	20	
	楽器の音色や曲の構成に注目して鑑賞する。 音をよく聴き合い、楽器の良さを生かしてアンサンブルをする。	「交響曲第9番」 「きよしこの夜」 「星に願いを」		○	○	【知識及び技能】 ・ベルの仕組みや奏法の理解 ・ベルの基本的な演奏の技能 ・交響曲やオーケストラについての知識 【思考力、判断力、表現力等】 ・曲の構成と文化・歴史との関わり 【学びに向かう力、人間性等】			○	12	
3 学 期	パートの役割を理解し、発声を工夫してアンサンブルをする。 コードの響きを感じながら、ストローク奏法で弾き歌いをする。	「サザエさん」 「日曜日よりの使者」	○	○		【知識及び技能】 ・ヴォイス・アンサンブルの技能 ・ギターの基本的な演奏の技能 【思考力、判断力、表現力等】 ・グループごとの表現の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業態度、提出物			○	10	
	音楽の要素とイメージを結び付けて鑑賞しよう。 コード進行をもとに、動物をイメージしてメロディーをつくろう。	「動物の謝肉祭」 メロディー創作		○	○	【知識及び技能】 ・室内楽や楽曲の背景に関する知識 ・音楽創作アプリケーションの使い方 【思考力、判断力、表現力等】 ・音楽の特徴と情景との関わり ・手法を生かした旋律創作 【学びに向かう力、人間性等】			○	8	
										合計	78

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（新編 書道 I 大修館書店）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
1 学 期	・書写から書道へ 書写と書道との関係や考え方の違いを理解し、今後の学習への意欲を高める。姿勢・執筆や用具・用材について理解できるようにする。	書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。基本の姿勢・執筆について、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 使用教材 教科書・文房四宝	○	○	○	書写と書道との関係や考え方の違いを理解し、今後の学習への意欲を高めようとしている。姿勢・執筆や用具・用材について理解している。	○	○	○	4
	・漢字の書(1) 漢字の五書体の変遷、仮名の成立等を理解することができるようにする。また、楷書の古典の種類を知り、法帖を通して基本的な点画や線質の表し方を理解し、そこから受ける印象の違いを感じることができるようにする。	漢字の五書体の変遷について理解する。唐の四大家の概要を知り、作品の比較を通してそれぞれの美を感得する。 使用教材 教科書・文房四宝		○	○	漢字の五書体の変遷、仮名の成立等を理解している。楷書の古典の種類を知り、法帖を通して基本的な点画の線質の表し方を理解し、そこから受ける印象の違いを感じる力を身に付けている。	○	○	○	4
	・漢字の書(2) 楷書古典の臨書を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、楷書の基本的用筆法を習得することができるようにする。	古典題材 九成宮醜泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛鑑造像記 鄭義下碑		○	○	楷書の古典の臨書を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、楷書の基本的用筆法を習得している。	○	○	○	12
	・漢字の書(3) 楷書の古典の学習を活かして、主体的・意欲的に作品を制作する。また、友達や他の創作作品を鑑賞することにより、幅広い表現や多様の美を理解し深く味わうことができるようにする。	創作の手順に従い、今までの授業で学んだ古典の特徴や技能を活かして創作する。また、創作作品を鑑賞することにより、そのよさや美しさを味わう能力を伸ばす。 使用教材 教科書・法帖・五體字類		○	○	楷書の古典の学習を活かして、主体的に自己表現する力を養うことができる。また、友達や他の創作作品を鑑賞することにより、幅広い表現や多様の美を理解し、書のよさや美しさを味わって捉えている。	○	○	○	8
2 学 期	・漢字の書(4) 行書古典の臨書を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、行書の基本的用筆法を習得することができるようにする。	古典題材 蘭亭序 祭姪稿 風信帖 使用教材 教科書・文房四宝		○	○	行書の古典の学習を活かして、それぞれの特徴と書法を理解し、行書の基本的用筆法を習得している。	○	○	○	16
	・仮名の書 平安時代の代表的な古筆を鑑賞し、連綿の流動美、行書きや散らし書きなどの全体構成について考える。古筆の臨書学習を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、仮名の基本的用筆法を習得することができるようにする。	古典題材 蓬萊切 高野切第三種 使用教材 教科書・文房四宝			○	仮名の古典の学習を活かして、それぞれの特徴と書法を理解し、仮名の基本的用筆法を習得している。	○	○	○	16
3 学 期	・漢字仮名交じりの書(1) 漢字と仮名の調和の重要性を確認し、主体的・意欲的に創作を行う。また作品を鑑賞することにより、それぞれに込められた思いと照らし合わせ、背景などを推察しながら深く味わうことができるようにする。	漢字と仮名の調和の重要性を確認し、そのための工夫について考えて創作する。友達や他の作品を鑑賞することにより、書のよさや美しさを味わって捉える。 使用教材 教科書・法帖・五體字類	○		○	漢字と仮名の調和の重要性を理解し、今まで学んできた用筆・運筆の技能、字形、全体の構成について工夫がなされている。漢字の古典や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	○	○	○	14
	・漢字仮名交じりの書(2) 手書き文字による手紙の長所について考え、伝統的な書式を活かして整理に書くことができるようにする。今後の生活に書を活かすにはどのようにしたらよいかを考える態度を養う。	基本的手紙の書き方や、封筒、はがきの表書きなど、定型書式の書き方を確認する。 使用教材 教科書・筆記用具 身のまわりの書	○		○	生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	○	○	○	4
										合計
										78

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

教科：外国語 科目：英語コミュニケーション I 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：(ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I, ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I WORKBOOK)

教科 外国語

の目標：

外国語の音声、

【知識及び技能】 語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的、社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付ける。	Unit 1 Why do people learn languages? Unit 2 What do superstitions mean to you? ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○				23
	定期考査		○	○		○					1
	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付ける。	Unit 3 How can we promote sustainability? Unit 4 What can we learn from people in Hawaii? ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○				31
定期考査		○	○		○					1	
2 学 期	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付ける。	Lesson 5 How can you engage your audience? Lesson 6 What are the qualities of a good leader? ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○				31
	定期考査		○	○		○					1
	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付ける。	Unit 7 What is your ideal lifestyle? Active Reading 1 Ocean Plastic ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○				31
定期考査		○	○		○					1	
3 学 期	【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関し目標レベルに到達する。 【思考力、判断力、表現力等】 各レッスンのテーマにおいて外国語で自ら質問に答え内容を再現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付ける。	Unit 8 Why do we explore the universe? Active Reading 2 The Gift ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○				35
	定期考査		○	○		○					1
			○	○		○					1
合											

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 実教出版 情報 I ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報機器、技術を活用し、問題解決や情報社会で人との係りを深めることのできる能力を得る。

【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな事象において情報機器をつかい問題解決ができ、学習や生活に応用できる技能を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用でき、情報社会に主体的に参画できる態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報社会で生活するための情報技術を身につけ、自己の問題解決に利用できる。情報化の社会に対応できる知識、技術習得し、人とのかかわりをよりスムーズに関係をもてる。	身に着けた情報技術や情報機器を活用でき自己の問題を解決に利用できる。さらに得た情報能力で適切な判断ができ積極的に情報社会に参画できる。	情報社会に関わり問題の発見、解決に向けて主体的に情報知識と情報機器を活用し、自ら改善しようと積極的に取り組む姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 情報社会 【知識及び技能】 データ、情報、知識の関係を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 データ活用とその関わりを理解 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 情報の特徴と情報モラル 知的財産権 個人情報の保護 ・教材 ブラウザ Webページ 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 情報社会の関係を理解できたか。 【思考・判断・表現】 データをどのように利用できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットなどでデータ集めを行ったか。	○	○	○	3
	B 単元 メディア関係 【知識及び技能】 各メディアの内容を知る 【思考力、判断力、表現力等】 各メディアの特徴とそのメディア 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 情報メディアの特徴 インターネットの形態 Webでのコミュニケーション ・教材 ブラウザ、Webページ 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 メディアを使って情報発信ができるか。 【思考・判断・表現】 メディアの内容を理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報データなど収集を積極的に行ったか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		
	C 情報デザインとその実践 【知識及び技能】 文字、画像、音声の特徴を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ワープロなどを使って各メディア 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 文字、図形、Webの特徴とそのデザイン 実習：ワープロでデザイン文章 作成、プレゼンテーション、HTML でのWebページ作成 ・教材 ワープロ エディタ	【知識・技能】 メディアとそのデザインの特徴を理解できたか。 【思考・判断・表現】 実習でうまく作品ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼン、Webページの作品づくりを積極	○	○	○	11
	D 単元 システムとデジタル化 【知識及び技能】 コンピュータのしくみと各装置 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの計算のしくみなど 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 コンピュータのしくみ ソフトウェアハードウェア インターフェース デジタル化と2進数、演算 ・教材 コンピュータ内の部品	【知識・技能】 コンピュータの仕組みが理解している。 【思考・判断・表現】 2進法や演算の仕組みを理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータ部品、周辺機器の実物に興味もって積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
2 学 期	A 単元 ネットワークとセキュリティ 【知識及び技能】 通信方法の種類やLANの構成 【思考力、判断力、表現力等】 LAN構成機器内容を考えられる 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ネットワークの構成 プロトコルの内容 Webページとメールのしくみ 情報セキュリティの確保 ・教材 通信機器部品 Webページ	【知識・技能】 ネットワークの仕組みが理解している。 【思考・判断・表現】 LANのしくみを理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 LANの構成を個人やグループ活動で興味もって積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	16
	A 単元 問題解決とその方法 【知識及び技能】 問題解決の現状把握とその手順 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決に表計算ソフトを活用できる 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 問題解決とは データの活用 モデル化とシミュレーション 情報セキュリティの確保 ・教材 表計算ソフト	【知識・技能】 問題解決の方法を理解できたか。 【思考・判断・表現】 データを収集選択できる能力があるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表計算ソフトや各ソフトを積極的使、分析と問題解決をしようとしたか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 基本制御構造の内容を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 フローチャート図を作成する	・指導事項 プログラミング言語の種類 アルゴリズムとその表記 実習：プログラミングの方法 ・教材 表計算マクロ(VBA)やPython 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 アルゴリズムその使い方を理解できたか。 【思考・判断・表現】 アルゴリズムの基本的制御構造やプログラミング言語の種類や特徴を理解できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 アルゴリズム図を書いたりプログラミング	○	○	○	8
	A 単元 プログラミングの実践と情報のまとめ 【知識及び技能】 VBAによるプログラミング実習 【思考力、判断力、表現力等】 関数や構文を理解使用する	・指導事項 変数、関数の使い方 関数、変数の使い簡単なプログラム作成 情報のまとめ ・教材 表計算マクロ(VBA)	【知識・技能】 表計算マクロを理解できたか。 【思考・判断・表現】 関数、変数が理解できプログラムを作ってきた。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラミングを積極的に開発し辛抱強く	○	○	○	10
	学年末考査			○	○		合計 78